

第3章

東日本大震災時の新地町



震災があつて

いつかやろうと思つていたことや、
やってみたいなあと思うことを、
すぐにできるようになった。

— 60代女性

(新地町震災・復興記録集づくりワークショップより)

新地町災害対策本部記録より

東日本大震災時の災害対策本部の記録より [平成23年3月11日ー平成23年6月13日]

東日本大震災発生時からの約4か月間の町の動きを時系列にまとめました。
 (新地町震災対応時系列資料より抜粋、赤字は福島県資料・東京電力(株)資料より引用して掲載)

平成 23 年		年	
3月12日		日付	
9時08分	医師2名、看護師2名避難所医療相談開始	14時46分 東北地方太平洋沖地震 震度6.1 14時49分 大津波警報発表 14時50分 新地町災害対策本部設置(庁議室) 避難指示発令 15時51分 相馬で9.3m以上の津波を観測 18時20分 大戸浜地区避難完了 18時40分 今泉地区避難完了 18時45分 自衛隊に災害派遣要請 19時03分 原子力緊急事態宣言(福島第一原子力発電所) 県に救援物資を要請 (毛布5000枚、水5000人分×3ℓ、 カンパン2500缶、発電機20、暖房機50) 20時50分 福島第一原発1号機の半径2kmの住民へ避難指示 県に仮設トイレ50を要望 21時20分 福島第一原発1号機の半径3km圏内の住民に避難指示及び福島第一原発1号機の半径10km圏内の住民に屋内退避指示 21時23分	
8時57分	建築物応急危険度判定士 県より7名派遣決定		
8時35分	公立相馬総合病院の医師2名、看護師2名到着 医療活動開始		
7時40分	給水車到着 福田・真弓農業集落排水処理場停電のため作動せず		
7時02分	水道企業団より国道6号より上の給水開始 給水車1台役場へ ポリタンク手配済み		
6時30分	重機の投入開始 下水道全般マンホールの浮き上がり町内一円使用制限		
6時18分	相馬共同火力避難者の新地高校への受入準備整う		
6時10分	町長・副町長避難所訪問 谷地田で水道管破損		
6時05分	JR乗務員自力徒歩で脱出		
6時00分	漁船36隻中34隻安否確認		
6時00分	消防団への道路調査指示		
5時44分	福島第一原発1号機の半径10km圏内の住民に避難指示		
2時25分	山元町より避難要請100人		
1時20分	自衛隊19名到着		
P.26 ~ P.31			関連ページ
平成 23 年		年	
3月13日		日付	
9時35分	神戸消防庁・滋賀県・岐阜県33隊×4名 132人到着作業開始	9時49分 駒ヶ嶺駅前まで水が来ている 尚英中学校豚汁炊き出し 10時00分 仮設住宅440棟を県に要望 10時54分 防災ヘリ要請 漁協2名救助要請 11時00分 佐藤雄平県知事来庁 11時20分 県及び県議来庁(相双) 11時47分 船に向けて物資を運ぶ(広域1名と自衛隊1名対応) 国道6号バイパス藤崎から駒ヶ嶺20cmほどの冠水 12時40分 日本赤十字(神奈川支部・新潟支部・長岡支部)来町 河北新報取材 相馬共同火力 保安要員100名を残して避難完了 1048名 13時05分 漁船36隻中34隻帰港 振興局へ物資依頼 (大人オムツ25000枚、子供オムツ10000枚、尿 取りパッド20000枚、老眼鏡500個、頭痛薬、風邪薬) 13時05分 振興局へ物資依頼 振興局へ物資依頼 (大人オムツ25000枚、子供オムツ10000枚、尿 取りパッド20000枚、老眼鏡500個、頭痛薬、風邪薬)	
9時20分	建築物応急危険度判定士派遣決定		
8時26分	福田消防団OB 消防団活動にボランティアで参加 (改善センター、特老、総合体育館)		
7時30分	津波警報から津波注意報へ切替 明和電工のボランティア受入 (改善センター、特老、総合体育館)		
7時00分	消防団員130名捜索にあたる (JR常磐線より国道6号まで)		
20時20分	大津波警報から津波警報へ切替 尚英中学校電気・水道復旧		
18時25分	福島第一原発の半径20km圏内の住民に避難指示 真弓農業集落排水処理場停電のため逆流		
17時10分	福島第一原発爆発をテレビで確認 自衛隊は一部石巻へ		
16時50分	日赤奉仕団各隊(日本赤十字名古屋第1次赤十字隊・ 第2次赤十字隊) 撤収 白石市へ帰隊12名 (医者2・看護師6・事務2)		
16時30分	エコノミー症候群注意喚起 防災無線放送		
16時27分	日本赤十字名古屋第1次赤十字隊・第2次赤十字隊		
15時36分	福島第一原発1号機で水素爆発と思われる爆発		
14時10分	勤労青少年ホームに山元町から60名避難		
13時40分	建築物応急危険度判定士 県より9名到着、3日間		
P.26 ~ P.31			関連ページ
平成 23 年		年	
3月11日		日付	
21時23分	福島第一原発1号機の半径3km圏内の住民に避難指示及び福島第一原発1号機の半径10km圏内の住民に屋内退避指示	14時46分 東北地方太平洋沖地震 震度6.1 14時49分 大津波警報発表 14時50分 新地町災害対策本部設置(庁議室) 避難指示発令 15時51分 相馬で9.3m以上の津波を観測 18時20分 大戸浜地区避難完了 18時40分 今泉地区避難完了 18時45分 自衛隊に災害派遣要請 19時03分 原子力緊急事態宣言(福島第一原子力発電所) 県に救援物資を要請 (毛布5000枚、水5000人分×3ℓ、 カンパン2500缶、発電機20、暖房機50) 20時50分 福島第一原発1号機の半径2kmの住民へ避難指示 県に仮設トイレ50を要望 21時20分 福島第一原発1号機の半径3km圏内の住民に避難指示及び福島第一原発1号機の半径10km圏内の住民に屋内退避指示 21時23分	
20時50分	福島第一原発1号機の半径2kmの住民へ避難指示		
20時15分	県に救援物資を要請 (毛布5000枚、水5000人分×3ℓ、 カンパン2500缶、発電機20、暖房機50)		
19時03分	原子力緊急事態宣言(福島第一原子力発電所)		
18時45分	自衛隊に災害派遣要請		
18時40分	今泉地区避難完了		
18時20分	大戸浜地区避難完了		
15時51分	相馬で9.3m以上の津波を観測		
14時50分	新地町災害対策本部設置(庁議室) 避難指示発令		
14時49分	大津波警報発表		
14時46分	東北地方太平洋沖地震 震度6.1		
P.12 ~ P.25			関連ページ



平成 23 年		平成 23 年		年
3月14日		3月13日		日付
11時00分頃 福島第一原発3号機で 水素爆発と思われる爆発	9時00分 消防分署よりヘリからの捜索を打ち切り (3月12日～3月13日捜査)	23時40分 振興局へガソリン200ℓ、灯油500ℓ要請	10時20分 群馬の自衛隊10名(南雲3尉)	内 容
9時34分 消防団より明地公会堂付近電線断線の報告有り	9時00分 仮設トイレくみ取り開始(23基2700m) 場所①役場②新地小③尚英中④総合体育館 ※3日後には再度くみ取りが必要	21時30分 新潟県災害対策本部より菓子パン70箱提供	13時28分 菅野医院役場3階で診察開始	
9時30分 尚英中学校天井水漏れ	9時20分 小高分署閉鎖	17時58分 津波注意報解除 避難指示解除	13時30分 総合体育館から新地小学校へ 避難所移設開始。住民は、各地区毎に移動 (新地小学校・駒ヶ嶺公民館)	
P.34～P.35		P.32～P.33		関連 ページ

平成 23 年		平成 23 年		年
3月15日		3月14日		日付
11時32分 分署より、消防本部から原発の爆発により30km圏内 屋内待避との連絡有り	18時00分 庁舎内上水道・下水道(使用制限)ともに使用不可	17時46分 楠原輸送の救援物資要請 (水ドラム缶7本・ポリ容器20ℓ×10個・軽油200ℓ ガソリン200ℓ)	11時09分 消防より原発3号機爆発の模様 屋内に入るとの指示	内 容
11時19分 第12特殊隊捜索がスタート	18時20分 仮設住宅建設地の地権者から承諾をいただく	17時00分 潜水防除の駒ヶ嶺ゲートを開く	11時10分 振興局に物資依頼 (ミルク・生理用品・紙おむつ(大人用・子供用)・ ウエットティッシュ・赤ちゃん・おしりふき・下着・衣類)	
11時00分 福島原発の半径20～30km圏内の 住民へ屋内退避指示	1時05分 国土交通省四国の職員5名撤退へ 支援用油等 楠原輸送より届く (水7缶ポリ容器7個、ガソリン1缶、軽油1缶、お茶1ケース)	16時50分 搬入あり(新地小・尚英中、福田小)	11時13分 屋内待避指示 防災無線放送	
10時20分 外の作業及び捜索開始を指示(庁舎内放送を行う)	8時50分 自衛隊の上部より屋内待機命令により捜索を中断	16時45分 警察署の引き上げ	11時15分 テレビ・保安院で爆発音有りの情報あり	P.34～P.35
10時10分 自衛隊捜索開始	9時00分 財団法人SYB修繕団へ地震救援ボランティアの 依頼(町長から)	15時30分 菅野医院より「ヨウ素」の寄付あり、160人分	14時00分 消防団、仙南広域消防退去	
9時50分 第12特殊隊ヘリラインの状況報告を行う	9時10分 磐城国道事務所原町維持出張所の閉鎖のため、 役場に移動事務所設置	15時05分 保健センター避難所開設 移動開始	警察署員による捜索活動	
9時30分 町職員に対し、屋内勤務を命ずる	9時25分 広域消防本部より各消防署への連絡として屋内待機	15時30分 自衛隊へ救援物資要請(毛布ほか)	宇都宮部隊が到着 応急復旧	P.36～P.37
9時30分 町職員に対し、屋内勤務を命ずる	9時30分 町職員に対し、屋内勤務を命ずる	15時30分 自衛隊へ救援物資要請(毛布ほか)	11時14分 1尉・第2施設群飯塚12特科隊190名のうち 約170名 奥手3佐3中隊 体育館泊	
9時50分 第12特殊隊ヘリラインの状況報告を行う	9時50分 第12特殊隊ヘリラインの状況報告を行う	15時30分 自衛隊へ救援物資要請(毛布ほか)	テレビ・保安院で爆発音有りの情報あり	
P.36～P.37		P.34～P.35		関連 ページ



平成 23 年		平成 23 年		年
3月21日		3月20日		日付
13時45分	伊達市副市長・総務企画部長ほか1名激励来庁	10時15分	相馬消防本部長来庁 初期の人命救助は5日間となっているが今日で9日目、県の災害対策本部から広域消防援助隊の期間について延長するよう要望有。県からの問い合わせがあった場合は町からも要望を行う	内 容
13時30分	振興局へ、放射線量測定を水源地である真野ダム付近でも実施するよう要望	10時45分	広域岐阜隊新メンバー到着 68名+4名(指揮隊)	
13時30分	在宅者への食料配給が始まる	11時30分	柴田町長 激励来庁	関連ページ
11時45分	振興局へ物資要望 (米1500kg、レトルト食品10000個、パックご飯10000個、革手300組、水550m、24本入り、1000箱、野菜ジュース3000本)	11時30分	岡山県13特科隊到着 151名+車両 (山本2佐・13特科隊長本間1佐)	
11時45分	参議院議員金子恵美氏激励来庁	11時30分	J A組合長、コープ飯館来庁	P.45
11時30分	県災対本部より、避難所のストーブ、灯油の要望を聞かれる→灯油ドラム缶10缶、ブルーヒーター3台を要望(物資班坂本)	13時28分	県からヨウ素剤(粒)入荷 10600錠	
	P.46	10時15分	国立病院機構医師団巡回 (保健センター→新地小→福田小)	P.46
		18時40分	日本共産党中央委員会最上清治氏ほか3名激励来庁	
		15時45分	郵便局東北支社長来庁	P.45
		15時30分	埼玉県神川町長 来庁	
		15時20分	相馬警察署(根元課長)に機材の要望を行う (フラップ5台・バックホー3台・バケットローダー2台・ダンプ10台)	P.45
		15時00分	投光機1台+2トラック1台(日本道路株式会社東北支社宮城営業所工業統括鈴木道夫氏)改善センターに設置	

平成 23 年		平成 23 年		年
3月24日		3月23日		日付
14時25分	激励来庁	10時25分	FCT取材来庁	内 容
13時40分	水タンク車を今泉公会堂・木崎公会堂・小川原添・藤崎公会堂に各1台計4台を配置	10時33分	佐藤工業社長来庁	
13時35分	仮設トイレ10基県から到着	13時15分	消防・自衛隊 中島地区捜索へ	P.47
13時20分	県災害対策本部よりラジオ到着 150台	13時40分	自民党参議院議員佐藤止久氏 激励来庁 (保健センター避難所へも訪問)	
13時20分	NHKより携帯ラジオ到着 100台	17時30分	亀岡偉民氏来庁 新地小避難所訪問	P.46
13時13分	清水建設(株)電力エネルギー担当高木部長ほか4名 激励来庁	13時40分	相馬東高校プラスバンド部避難所を回り慰問演奏 倒壊家屋・車の撤去について相談を行う	
11時00分	相馬東高校プラスバンド部避難所を回り慰問演奏 (福田小・尚英中・新地小・保健センター)	9時00分	今野好美氏(今野製作所)来庁	P.46
9時20分	国立病院機構九州医療センター副院長ほか5名巡回診察開始	8時35分	相馬建設事務所角田氏来庁	
14時25分	日本イチョウファーム立崎代表取締役ほか2名 激励来庁	9時00分	保健衛生学院の介護士2人巡回訪問開始	P.47
13時40分	小川原添・藤崎公会堂に各1台計4台を配置	9時05分	国立病院機構医師団(福岡) 5人巡回診察開始 (婦人服ジャージ100セット・毛布3500枚ほか食料品等)	
13時35分	仮設トイレ10基県から到着	20時23分	NTTドコモ(法人営業新田氏)より携帯電話借用 (6台) ↓3月23日福島市で受け取り	P.46
13時20分	県災害対策本部よりラジオ到着 150台	16時30分	NTTドコモより各避難所へ充電器配付	
13時20分	NHKより携帯ラジオ到着 100台	15時05分	広島第13施設団海沼陸将補以下隊員到着あいさつ 明日から捜索開始	P.46
13時13分	清水建設(株)電力エネルギー担当高木部長ほか4名 激励来庁	14時25分	遠藤内科医院来庁	
11時00分	相馬東高校プラスバンド部避難所を回り慰問演奏 (福田小・尚英中・新地小・保健センター)	11時35分	県から放射能の検知器届く	P.46
9時20分	国立病院機構九州医療センター副院長ほか5名巡回診察開始	11時30分	保健衛生学院の介護士巡回訪問のため来庁	
9時00分	今野好美氏(今野製作所)来庁	16時53分	小松参議院議員激励来庁	P.46
8時35分	相馬建設事務所角田氏来庁	16時00分	福島二チアス井郷社長・岡田総務課長 激励来庁	
14時25分	日本イチョウファーム立崎代表取締役ほか2名 激励来庁	14時30分	駒ヶ嶺公民館を継続して避難所として開設する (受入避難者約20名)	P.46
13時40分	水タンク車を今泉公会堂・木崎公会堂・小川原添・藤崎公会堂に各1台計4台を配置	14時00分	振興局へ物資要望 (鮭1000切、納豆2000個、明太子200P、じゃがいも1000個、にんじん200本、こぼろ200本、大根200本、ブロッコリー10箱、白菜箱、キャベツ10箱、ヨーグルト1500個、プリン1500個、チーズ(ペビーチーズ)1500個、野菜ジュース1500本、豚肉5kg、ハム2000個、ウインナーソーセージ3000袋)	

平成 23 年										平成 23 年										年																																																																																																									
4月9日					4月8日					4月7日					4月7日					4月6日					日付																																																																																																				
14時25分	12時48分	12時00分	17時15分	16時15分	15時50分	11時36分	11時33分	11時00分	10時00分	9時00分	00時55分	23時34分	23時33分	18時00分	16時00分	14時05分	13時30分	12時13分	10時53分	10時45分	10時30分	9時30分	14時30分	13時50分	13時00分	12時00分	11時00分	内容																																																																																																	
社会福祉法人三井記念病院5名 巡回診療開始あいさつ					山形県舟形町沼沢氏より メンチカツの差し入れ 新地小学校避難所300人前・尚英中学校避難所70人前 (南)レアテック井上社長来庁					山形県舟形町沼沢氏より 山形いも煮の炊き出しと メンチカツの差し入れ 新地小学校避難所300人前・尚英中学校避難所70人前 着任あいさつのため来庁					佐賀県健康福祉部平子哲夫本部長ほか4名、 ボランティア支援のあいさつのため来庁					南相馬市 株メイワ社長ほか3名 ボランティア支援のあいさつのため来庁					佐藤工業(株)東北支店 建築営業部長 激励来庁					北海道登別市小笠原春一市長、北海道議会中山智康議員 ほか2名激励及び人的支援等について調整に来庁					11時33分 東京都多摩市 福田一仁総務部長ほか3名来庁					11時00分 町長・議長国会への要望活動					10時00分 「災害見舞金等」及び「罹災届出証明申請」受付開始 (福田小学校避難所・保健センター避難所) N T T 臨時電話回線、インターネット回線工事有 避難者用として臨時の電話及びパソコン設置のため、各避難 所(避難所へは連絡済み)への電話回線及びインターネット (ADSL)回線工事(電話機は明日設置予定 PCは県へ 要望中) 駒公(ロビ)、尚英中(1階の階段下)、新地小(本 部会議室)、保健センター(トイレ前) 福田小(体育館内)					「災害見舞金等」及び「罹災届出証明申請」受付開始 (福田小学校避難所・保健センター避難所)					津波注意報解除					津波注意報発表					津波注意報発表					カラーボトル慰問コンサート (保健センター)新地小(尚英中)					自治労 徳永秀昭中央執行委員長激励及び 支援の等調整のため来庁					相馬地方町村会 菊池事務局長打ち合わせのため来庁					相馬市 竹内前副市長 激励来庁					和歌山県警機動隊49名救出作業のため着任					NHK取材(本日より仮設住宅入居申込によるもの)					NHK報道局災害気象センター記者 新地小学校避難所の中でアンケート調査(13名)					古屋圭司衆議院議員・鴨下一郎衆議院議員・ 衛藤晟一衆議院議員・山本有二衆議院議員来庁					株タクマ 高田課長 激励来庁					フジタコーポレーション関連企業飲食店「いっちょ」 によるうどん炊き出し 昼(新地小学校)及び夜(保健センター) ※今後も外の避難所で週1回 平日 程度実施予定					社団法人まちづくり役場広報担当西川昌徳氏 ボランティア活動について町長と面談					関連 ページ
P.56					P.56					P.56					P.56					P.55																																																																																																									

平成 23 年										平成 23 年										年																																																																																																																			
4月14日					4月13日					4月12日					4月11日					4月11日					4月10日					4月9日					日付																																																																																																				
10時20分	10時00分	9時00分	18時30分	14時18分	13時54分	13時30分	12時12分	11時47分	11時05分	11時00分	10時42分	14時07分	18時05分	17時18分	17時16分	15時00分	11時40分	9時00分	8時55分	13時53分	11時55分	10時30分	10時05分	10時00分	7時50分	14時52分	内容																																																																																																												
県立福島医大の医師団5名、町内避難所巡回診療開始 (漁港付近(中浜付近) 4~5日間実施予定 自衛隊(施設)より水中捜索開始の連絡有					新地小学校入学式					駒ヶ嶺小学校入学式					衆議院議員町村信孝氏激励来庁					二本松市議会 安部匡俊議員 (新道政治連盟福島県本部副部長)来庁					相馬地方建設業組合草野会長、東北建設佐藤氏来庁					株アールピーアイ板木代表取締役室井忠顕氏来庁					みんなの党 江田けんじ衆議院議員、 小熊慎司参議院議員 激励来庁					日本赤十字社福島県支部太田久雄事務局長から仮設 住宅へ家電6点セットの寄贈申し入れのため来庁					福島県町村会会長 大玉村浅和定次村長 激励来庁					ネクスコ東日本相馬工務事務所長 常磐自動車道の被害状況報告のため来庁					福島第一原発事故が「レベル7」に					町内各小学校で卒業式					津波注意報解除					津波注意報発表					津波注意報発表					陸上自衛隊西部方面総監部幕僚副長高田克樹陸将補、 装備部長紙原誠司1等陸佐、 法務官東哲男1等陸佐来庁					無料法律相談所開設(役場3階会議室)					自治労東京都職員組合後方支援のため7名着任挨拶					財務省長野財務事務所榎本伸義総務課長、 菅生剛彦調査官後方支援のため来庁					陸上自衛隊第13旅団長 海沼敏明陸将補来庁					佐藤栄佐久前福島県知事 激励来庁 (同行者:朝日新聞社斉藤記者、北海道新聞社東京報道セン ター島田記者、日本ペンクラブ星亮一氏ほか)					国立・電気通信大学准教授情報理工学研究所 水戸和幸博士(杉目出身) 激励来庁					彦根金亀ライオンズクラブ正木喜八郎氏 激励来庁					東京医科大学病院渡航者医療センター増山茂博士、 仙台社会保険病院大江洋文外科主任部長、 千葉県いすみ市議会田井秀明議員 激励来庁					海上自衛隊より釣師浜漁港内のダイバー(31名) 捜索の準備が進められる					山形県舟形町伊藤孟教育長ほか3名激励及び 炊き出し慰問報告のため来庁					関連 ページ
P.59					P.59					P.58					P.58					P.58					P.57					P.56																																																																																																									



平成 23 年							平成 23 年							年																
5月13日						5月12日							5月11日	5月9日	5月7日	5月6日	5月4日	5月3日	5月2日	日付	内 容	関連ページ								
9時50分						10時10分							14時45分	10時00分	16時50分	13時30分	10時00分	8時55分	16時00分											
福島県立テクノアカデミー浜 益子慎司校長、須田真一副校長がサテライト校について説明のため来庁						楠原輸送中川部長来庁							日本相模協会巡業部委員立田山裕教氏(元薩洲洋)ほか、大震災復興支援巡業について打合せのため来庁	福島地方裁判所相馬支部遠藤稔庶務課長 無料法律相談開催について広報等の依頼のため来庁	佐藤信秋参議院議員激励来庁	福島県土木部鈴木参事、相建建設事務所長来庁	松本龍防犯担当大臣現地調査のため来庁 (新地町、釣師漁港、相馬)	自民党副総裁大島理森参議院議員視察のため来庁	11時00分 「がんばれ新地町」屋台村開設	10時00分 県・野崎企画調整部長が県復興ビジョン取りまとめのため来庁	8時55分 元ミス日本・プロダンサー吉野ゆりえ氏、みんなの党柿沢未途参議院議員、ラジオ福島大和田編集局長、町長インタビュー(生放送)のため来庁	16時00分 フジテレビ報道局取材センター取材のため来庁								
-						-							P.68	P.68	-	-	-	-	-	-										

平成 23 年							平成 23 年							年																					
5月24日	5月23日	5月22日	5月21日	5月19日	5月18日								5月17日	5月16日	5月14日	5月13日	日付	内 容	関連ページ																
10時00分	8時30分	13時00分	10時00分	12時00分	10時20分	10時00分							16時05分	15時50分	15時15分	14時25分	14時15分			11時00分	10時00分	16時00分	14時00分	12時55分	10時25分	10時15分									
国土交通省河川局防災課堤盛良課長補佐、竹中宏徳水防企画係長来庁	佐賀県中部保健福祉事務所福祉支援課矢岡由美主幹、唐津市役所保健福祉部保健課城造子保健係長ほか巡回保健指導あいさつのため来庁	東京都多摩市長来庁	相双法人会長ほか来庁	尚英中学校、避難者移動につき避難所機能閉鎖	第13旅団長現地指導のため来庁	社会保険労務士会無料相談会、新地小学校							新地浄化センター受電完了 同仮水処理開始	京都府議会荒巻隆三議員ほか激励来庁	香川県議会山本悟史議員、観音寺市議会五味伸亮議員(尚英中出身) 激励及び支援のため来庁	北海道伊達市菊谷市長、伊達市連合自治会協議会大和田司郎会長ほか来庁	斎藤良一氏、歌手北てつろう氏、宮路修氏ほか来庁	大東建託株式会社復興仮設住宅プロジェクト 災害対策本部矢口秀樹チーフほか来庁	相馬警察署白石弘一署長着任挨拶のため来庁	東北電力相双営業所長ほか来庁	福島民報社矢内事務局長ほか来庁	岩城光英参議院議員来庁	11時55分 鹿野農林水産大臣視察のため来庁	14時00分 相馬警察署竹中淳一署長転勤挨拶のため来庁	12時55分 企画財政課佐藤兵吉班長打ち合わせのため来庁	山元町斎藤俊夫町長、 企業財政課佐藤兵吉班長打ち合わせのため来庁	10時25分 福岡県小郡市平安正知市長、赤松第5施設団長表敬訪問のため来庁	10時15分 東日本大震災・復興映画「てんでんこ」プロジェクトチーム、グランパプロダクション 福島取材班小牟田透氏取材のため来庁							
P.68	-	-	P.68	-	-	-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

家が流され、荷物も全部流されて一家がはなればなれになった
(50代女性)

たまたま冷凍庫に食材があり、食べ物には困らなかったが、車のガソリンが買えず困った (60代女性)



私たちの住んでいた地区がすべて無くなった
(50代女性)

ガソリンがなくて大変困った。食料品は常に買い置きをしていたので助かった
(60代女性)

しばらくは自宅の茶の間で寝るときも家族一緒だった
(60代女性)

津波が起きて、多くの人が亡くなった原発が爆発した。
(30代男性)

【新地町震災・復興記録集づくりワークショップより】



震災直後どのような状況でしたか
困ったこと、助かったことはありましたか

ガソリンがなくて困った
(50代女性)

避難所(体育館)で過ごした
(女性)

テレビは見れず、情報はなく、夫の一言で山の方から福田へ避難した (20代女性)

あまり困ったものはなく、電気がちょっと止まっただけだった (60代女性)

津波が来て、海岸近くにあった家屋、新地駅などすべてがなくなった
(60代女性)

携帯の電源、水、食料に困った
(50代女性)

町並みがすっかり変わってしまった (60代女性)

下着があればと思った
(女性)

見たことのない津波が来た
(30代男性)

携帯電話が無事で助かった
(20代男性)

水、食料、ガソリン、灯油が不足した
(60代女性)



お風呂と食べ物に困った
(30代男性)

電池などの買い置きがあり助かった (60代女性)